

令和7年度第6回備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和8年3月12日（木） 13時30分～

開催場所：備前市学びと遊びの健康プラザ（ビーテラス）2階 多目的ホール2

出席委員：大東 正虎【ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科 教授】
長崎 信行【備前市長】
畑下 昌代【備前市 市民生活部 部長】
花岡 茂明【岡山県タクシー協会和気支部】
橋本 恵正【備前市自治連絡協議会】
奥田 泰彦【備前市自治連絡協議会】
川上信一郎【備前市自治連絡協議会】
延本 大作【備前市老人クラブ連合会】
田原 隆雄【備前市老人クラブ連合会】
宮地 亮平【中国運輸局岡山運輸支局】
中務 博文【岡山県備前県民局 東備地域管理課】
栃折 太介【JR西日本岡山支社 地域交通課長】
境野 百花【岡山県県民生活部 交通政策課】
服部 博昭【瀬戸内市総合政策部 企画振興課】
則枝日出樹【和気町総務部 総務課】

出席委員 15名

委任状提出委員 4名

傍聴者なし

事務局：出射 詩都【備前市 市民生活部 交通政策課長】
河上 洋之【備前市 市民生活部 交通政策課長代理】
下山 真 【備前市 市民生活部 交通政策課主事】
千田 博人【備前市営バス管理事務所 運行管理者】

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

(1) 備前市営バスダイヤ改正(案)について(R8.4.1)

事務局：資料に沿って説明

会長：説明について質問があるか。

委員：2点お伺いします。東鶴山線の「ひだすき作業所前」バス停が追加されていますが、これは地元住民から要望があったのでしょうか。

八塔寺線の土曜日ダイヤが2便から1便に減便されており、利用者が少ないとのことですが、利用者状況を教えてください。

事務局：東鶴山線の「ひだすき作業所前」バス停の追加については、鶴海からひだすき作業所に通所されている利用者から要望がありました。

八塔寺線の利用者は、いずれの月も0~4人程度が利用している状況で、運行を委託している吉永タクシーと協議して減便することとなりました。

委員：岸本橋と田井山のバス停は民間路線バスのバス停をそのまま使うということでしょうか。道路運送法ではバス事業者のバス停は駐停車禁止になっていますが、警察への確認はしていますか。

事務局：警察署に確認したところ、当該バス停の共同使用について差し支えない旨の回答(口頭)を得ています。

委員：減便は仕方ないとは思いますが、少人数でも利用者がある路線については、通院などの目的で決まった方が利用されている可能性が高く、その人たちには不便になるのではないのでしょうか。利用者のいないバスを走らせるのは無駄に思われますが、平等に移動ができることを担保するために、公共投資をしなければ公共交通は成り立たないと思います。人口の少ない地域の移動環境が悪化しないためにデマンドタクシーも運行していると思いますが、事務局の考え方をお聞きしたいです。

事務局：ダイヤについては、利用者数だけではなく、運転手から利用者層や日常的に利用している人の状況を聞き取ることで把握しています。日常的に利用している人が困るような減便は計画しておらず、安定した利用が見られない便に対して運転者との相談の上、減便を計画している状況です。

委員：利用者が困るようなことにはならない理解で良いのでしょうか。

事務局：その通りでございます。

会長：JRのダイヤ改正に合わせて、市営バスの乗り継ぎ利便性が向上したように思い

ます。ダイヤを見ると接続が分かりにくい部分があるので、利用者に伝える場合にわかりやすく案内できるものがあれば良いと思いました。

事務局：瀬戸内市では時刻表に JR との接続案内を記載しており、備前市でもわかりやすい案内や周知が必要だと認識しています。

委員：八塔寺線が減便されていますが、観光客の利用があるのではないのでしょうか。観光等の関係課と協議はしていますか。

事務局：関係課との協議はしていませんが、便自体の利用者が少ないため、観光客の利用は少ないと考えられます。

委員：運行委託を受けている吉永タクシーです。土曜日の八塔寺線で八塔寺までの利用は年間を通じてもほぼ見られません。八塔寺への観光客は年々減少傾向にあり、外国人観光客や団体客はタクシーをチャーターしている状況。個人旅行者で旅行を楽しんでいる方は、バスを利用する場合何時間でも待つような方ばかりなので今回の減便で影響はないものと考えます。

委員：承知いたしました。

会長：それでは備前市営バスダイヤ改正(案)について異議はございますか。

委員：異議なし

会長：異議なしとして、協議事項 1「備前市営バスダイヤ改正(案)について」は提案の通り承認されました。

(2) 備前市地域公共交通計画(案)の策定について

事務局：資料に沿って説明

会長：説明について質問があるか。

委員：JR との接続についても考慮された計画になっていると思いました。特に計画案 P4 6 に基本方針 1 の評価指標として「市内の鉄道駅(JR)における 1 日あたりの利用者数」を設定されていることは JR 西日本としても大変ありがたいです。指摘として、現状値の年度に誤りがないか再度確認をお願いします。また、目標値の鉄道利用者数 3, 000 人/日以上は、市営バスやデマンドタクシーが現状値から 5% 増に対して、33% 増なので現実的な数字ではなく、挑戦的な目標に感じました。根拠等あれば教えてください。

事務局：次年度以降、JR の利用促進に向けた事業を検討していくこともあり、高い目標ではありますが備前市総合計画と整合を図る形で目標を設定しました。現状値については再度確認して訂正いたします。

委員：計画案 P4 6 の基本方針 2 の評価指標「備前市の公共交通に関わる財政支出額」が 1 億 4 千万円になっていますが、この金額は備前市の公共交通を支えていく上で適切な金額なのではないでしょうか。デジタルツールを活用した情報発信や高

年齢・障がい者の移動支援との連携などコストがかかると思われるため、1億4千万円で十分な施策が展開できるか疑問に感じました。瀬戸内市の第2次瀬戸内市地域公共交通計画では、現在の財政支出額1億6千万円から5年先は2億7百万円まで増加する見込みも示されています。財政支出額を1億4千万円未満で維持できると判断した理由を教えてください。

事務局：他自治体とそれぞれ人口や地形が異なるため一概に比較できませんが、本目標についてはサービスを下げた支出額を抑えるための目標ではなく、例えばデマンドタクシー配車システムの導入で、空いている車両の運行が出来れば車両台数の削減ができ委託料が抑えられるなど、財政のスリム化を目指していく上での目標としています。市営バス、デマンドタクシーのマイナンバーカード提示無料制度の撤廃で運行実績も大きく変わってくる可能性がございます。今後数年間の実績を踏まえて必要に応じて目標値を含めた計画の見直しを検討することとしています。

委員：民間交通事業者の撤退により路線バスを市営バスに転換した際、財政支出額が大きく増加したと記憶しています。民間委託に切り替えるという発想は現時点では考えていないのでしょうか。

事務局：現時点ではそのような計画はありません。

委員：デマンドタクシーのウェブサイトでの案内に利用目的を制限するような表記があり、利用促進にはならないというパブリックコメントがありましたが、どのような表現に訂正しようとしているか教えてください。

事務局：具体的な表現を改めて検討した上でパブリックコメントを公表します。

会長：それでは備前市地域公共交通計画（案）の策定について異議はございますか。

委員：異議なし

会長：異議なしとして、協議事項2「備前市地域公共交通計画（案）の策定について」は提案の通り承認されました。

4. 報告事項

(1) 東備西播定住自立圏圏域バス「ていじゅうろう」ダイヤ改正について

事務局：資料に沿って説明

会長：説明についてご意見ご質問等ありますか。

委員：どのような利用状況ですか。

事務局：本日は利用状況に関する資料を用意しておりませんが、多くはないと認識しています。一昨年から回数券を市役所や各支所などで発行していますが、ほとんどが三石の方で、赤穂市や吉永病院方面まで利用している状況です。

会 長：関係資料の路線図はわかりやすいです。市のウェブサイト等で公開されているのでしょうか。

事 務 局：ウェブサイトでも公開されているので、見直しに合わせて内容を更新します。

5. その他

委 員：西片上駅は市の事業として改修工事を行っており、3月10日に新しい駅舎で運用を開始しています。トイレ等もきれいになっているので立ち寄っていただきたいです。

事 務 局：1年間の御礼および来年度のお知らせ

6. 閉会（副会長あいさつ）

以上